



聞こえのチェックリスト & 受診勧奨票

当てはまるかどうか確認してみましょう！

チェック内容	該当する場合、 ○を付けましょう
<u>会話をしているとき、聞き返すことがよくありますか。</u>	
<u>相手の言った内容を聞き取れなかったとき、推測で言葉を判断することがありますか。</u>	
<u>電子レンジの「チン」という音や、ドアのチャイムの音が聞こえにくいと感じることがありますか。</u>	
<u>家族に、「テレビやラジオの音量が大きい」とよく言われますか。</u>	
<u>大勢の人がいる場所や周りがうるさい中での会話は、聞きたい人の声が聞きづらいと感じますか。</u>	

1つでも○が付いた方、ご自身の「聞こえ」が気になる方は、耳鼻科医師(補聴器相談医)への相談をおすすめします。



「聞こえづらさ」が進むと、生活する上でこのような支障が起きる可能性があります。

- 必要な音が聞こえず、危険を察知する能力が低下する
- 家族や友人とのコミュニケーションがうまくいなくなる
- 社会的に孤立し、うつ状態に陥る

このような状態が続くと、認知機能に影響をもたらす可能性もあると言われています。気になったら早めに耳鼻科医師に相談するようにしましょう！

(難聴高齢者の早期発見・早期介入等に向けた関係者の連携に関する手引き【第1版】より引用)

お問合せ先

摂津市 保健福祉部 高齢介護課 (TEL: 06-6170-1561)